

〈吉村知事の町内視察〉

株式会社 庄司製材所



▶閉校した及位中学校を再利用して事業を展開する様子を視察。
真室川町を代表する事業所の取り組みを知っていただきました。



真室川あさひ小学校



▶4年生の授業を参観。子ども達から「知事さんにとって、山形県の自慢はなんですか？」の問いに「県民の皆さんです」と答えた吉村知事



除雪について
本町区長 丹 信夫氏

13地区の約350世帯が会員となって流雪溝の利用組織を設立し、各地区の区長が利用者のマナーの徹底や計画的な雪処理を指導するなど、効率的な利用に努めています。積雪の多い日が続く道路幅が狭くなり、車ですれ違いうのが困難になる区間があります。真室川小学校の通学路にもなっている区間、区間排雪の回数を増やすなどの冬の交通安全確保をお願いします。

また、国道344号線の一部を流雪溝として利用していますが、森林管理署最上支署前はたびたび水上がりになることから、側溝の改良を早期にお願いします。

知事 最上地域は、全地域が特別豪雪地帯となっています。冬期間の円滑な道路交通や安全な歩行空間を確保することを目的に限られた予算の中で、効果的に行うために、基準を設けて除排雪を行っています。お話しがあった路線は、最もサビス水準の高い区分となっていて、除雪や排雪について随時行っていますので、ご

理解願います。

水上がりについては、昨年簡易的な作業を施し、幾分流れはよくなっているとの報告を受けています。総合支庁で現地調査をしてから、検討していきたいと考えています。

最上総合支庁長 水上がりとなる要因の箇所については、升の形状について検討し、万全を期したいと考えています。

「森林(もり)ノミクス」について
砂子沢区長 小松 定夫氏

当町は、約9割が森林で覆われ、人工林率も7割を超えている農山村で、長引く材価の低迷は、林業経営を悪化させて、「森林の荒廃」を進めています。

青森県などは、木材の海外輸出へ取り組んだり、栃木県では、循環型森林施業への転換として「皆伐再造林」への「1ha当たり32万円の補助」など県単独事業として進めたりしています。山形県でも「皆伐再造林」が円滑に推進されるよう支援を望むところです。

知事提唱の「森林ノミクス」について、今後の取り組みや展望をお聞かせ願います。

知事 山形県は、全体的に取り組みが遅れている状況にあるため、35市町村と一体となって森林資源を活かす「森林ノミクス」を進めていこうと昨年から取り組んでいます。木の伐採をはじめ、集材材の企業の進出、乾燥、製材施設、木質バイオマス発電施設も増加しています。建築や復興に県産材を使っていたり、真室川町でも先駆的な取り組みをしてみようとしているところ。総合的に循環することで、地域の産業創出、経済の循環へと繋がって地方創生へと、さらに繋がっていくものと思っています。今が、「森林ノミクス」を進めるうえでのチャンスと捉えていますので、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

最後に、吉村知事から、「皆さんの住み続けたい、という思いを大切にして、山形県がもつと強い地域になれるように全力で頑張っていきたい。」との言葉をいただき、盛大な拍手で市町村ミーティングを閉会しました。

2014 “知事と語ろう” 市町村ミーティングinまむろ川



「知事と語ろう市町村ミーティング」は、県民との会話を積極的に進める機会を設けることで、県政への理解と協力を得るとともに、県民や市町村の声を活かした県民のための県政を推進することを目的に開催。

吉村知事は、「心の通う温かい県政を推進して、市町村と一体となって、県民一人ひとりが喜びと幸せを実感して、活き活きと輝いて生きていける「住んで良し」「訪れて良し」の理想郷山形県を実現していくよう努めていきたい。」と挨拶しました。

知事と語ろう 市町村ミーティングinまむろ川

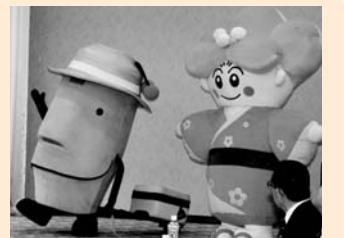
テーマ ～未来に向かって輝き続けるまちづくり～

11月12日(水)、吉村美栄子山形県知事をイベントハウス遊楽館に迎え、「知事と語ろう市町村ミーティングinまむろ川」が開催されました。

この「市町村ミーティング」が当町で開催されるのは、平成22年に続き2回目となります。会場であるイベントハウス遊楽館には、1時間以上も前から、知事の到着を待ちわびて訪れる参加者もあり、およそ200人の方が集まりました。

吉村知事が、「自然と文明が調和した理想郷山形」の実現へのサブタイトルのもと県政運営について丁寧な説明を行った後、一問一答方式でミーティングが始まりました。今回の開催では、「未来に向かって輝き続けるまちづくり」をテーマに設け、7人の方から、雪対策、道路、農業、6次産業化、婚活、教育、林業に関する内容が発表されました。吉村知事は、町の現状をしっかりと受け止め、県の取組や対策、知事としての考えを述べました。

今回は、意見交換の一部を要約して紹介します。



▲「山形DCキャンペーン」で活躍した「きてけろくん」と当町の「うめ子ちゃん」が登場。会場は、歓声に包まれました。